

平成30年度学校運営方針

【基本方針】

本校教育の根幹を成す「世のため、人のため」の精神のもと、社会の変化や生徒の実態に迅速に対応できる機動的な体制を確立し、開かれた学校づくりを推進する。

【長期目標】

- 1 社会的な視座に立つ教育活動を展開することにより、世界の現実を直視し、自己の使命を果たそうとする高い志と国際的素養を持った生徒を育成する。
- 2 後世に優れた精神文化を継承していく使命と責任を自覚し、知性と感性が調和した人間力豊かで実践的行動力を身につけた生徒を育成する。
- 3 内面的自覚を促し、節度ある生活の中で礼儀と倫理観を育てるとともに、主体的に行動し自らの責任を果たす生徒の育成を推進する。
- 4 ICT教育の充実により情報機器を活用し、論理的思考力や科学的思考力を更に伸ばさせ、学ぶ喜びと厳しさを体得させる厳格で活力ある授業を定着させる。
- 5 学校行事や生徒会活動等における生徒の自治的・協働的な活動をとおして、豊かな人間性と創造力、自己教育力、リーダーシップ、自浄力を育成し、社会が求める総合的な人間教育を推進する。
- 6 前期の区切りとしての「大運動会」と後期の区切り及び学年の総仕上げとしての「大文化祭」の二大学校行事を中心とした学校暦の充実を図る。
- 7 生徒の現状に即した諸支援を充実させ、「人間の在り方・生き方」を見つめる教育を推進する。

【年度重点目標と具体的目標】

- 1 授業等の改善・充実
 - (1) 校種間の接続（中高および高大の接続）を意識した授業を展開し、知識・技能の習得とその活用を内包する授業を展開する。
 - (2) 教育活動全体をとおして、自他の個性を理解し、主体的に進路を選択できる能力・態度を育む教育を実践する。
 - (3) 二学期制の特色を生かした修猷館暦のもと、生徒の多様な資質・能力を伸ばす柔軟で効果的な教育の方法、システムの研究を推進する。
- 2 豊かな人間性と実践力の育成
 - (1) 学校行事の意義について学校全体で共有することで、「世のため、人のため」という言葉に凝縮される本校の全人教育を充実させる。
 - (2) 命の大切さを認識させ、自尊感情・人権感覚等を主体的に獲得させるとともに、各種調査等から生徒の実態を把握し、教育活動を充実発展させる。
 - (3) 授業や特別活動等における交流、言語活動の充実をとおして人間力を高め、グローバルリーダーに相応しい態度と実践力を育成する。
- 3 教師としての資質・能力の向上
 - (1) 教師一人ひとりの言動が「隠れたカリキュラム」として修猷文化を醸成するという自覚を持ち、自ら進んで研究と修養に努め、教養を高める。
 - (2) 「語りの文化」を活用し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業や評価等の研究・開発・蓄積に努め、共有化を図る。
 - (3) 健康の維持・増進を図り、幅広く知識と経験の習得に努め、専門性の向上を図る。